

事務事業調書

平成27年度

事業No	452	課	ごみゼロ推進課	係	ごみ減量係	起案者	手塚勝之
						決裁者	水野正二郎
事務事業名	環境保全協働推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 1 協働による環境づくり 1 協働する体制づくり 1 各主体間の協働関係の強化			予算科目(会計)	一般会計		
				予算科目(款・項・目)	20-10-5		
				総合計画以外の計画	安城市一般廃棄物処理基本計画		
				関連する総合計画の施策	1-1-1-1-1		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	有	H22.6議会一般質問ほか					
陳情・市民要望	無						
実施方法	直営	委託先					
実施期間	開始	平成08年度	経過	19年目	終了	期間	
求める成果(目的)	誰(受益者)が	多くの市民が			~になる	ごみ減量に関心を持ちごみ減量を協働で行えるようになる。	
事務事業の内容	市民、事業者、行政との協働によるごみ減量、資源循環型社会形成の推進を図るため、ごみ減量推進委員会(旧廃棄物対策推進委員会)を開催し、ごみ減量施策の調査・検討・構築を行うとともに、市民活動を促進するため市民活動支援プログラムの運用、相談窓口の開設、説明会等による啓発活動を実施します。ごみの再資源化を促進するために、集団資源回収等に対する報償金事業を実施します。(平成27年度から)						
改善・対策の履歴	【H23年度から】ごみ減量啓発リーフレットの作成を市民目線で親しみやすいものとするため、市民団体であるNPO法人に委託し全戸配布しました。 【H24年度】町内会等を主体とする市民団体「ごみ30%減らし隊」が年度末に結成されました。 【H25年度】自発的な減量活動を広げるため市民団体等による「ごみ30%減らし隊」との協働や支援を実施しました。 ※H27年度から集団資源回収等の報償金事務を資源リサイクル事業から移行。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	6,902	6,569	3,864	3,777	40,053
財源計	5,075	4,616	2,289	2,202	37,029
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,075	4,616	2,289	2,202
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	1,827 (0.29)	1,953 (0.31)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	3,024 (0.48)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	ごみ減量推進委員会（廃棄物対策推進委員会）の開催	見込	6.00	4.00	4.00	2.00
			実績	6.00	4.00	4.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,050	930	723	
			活動にかかるコスト (千円)	175.00	232.50	180.75	
活動2	活動名 (活動内容)	ごみ減量分別相談コーナーの実施	見込	45.00	43.00	45.00	45.00
			実績	45.00	43.00	44.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	600	594	600	
			活動にかかるコスト (千円)	13.33	13.81	13.64	
活動3	活動名 (活動内容)	住民説明会等によるごみ減量・分別の啓発	見込	97.00	115.00	118.00	55.00
			実績	118.00	115.00	118.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,071	978	1,049	
			活動にかかるコスト (千円)	9.08	8.50	8.89	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	市民活動支援プログラムによる活動(回)			目標	45.00	74.00	75.00	52.00
				実績	67.00	50.00	47.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成	
成果2	住民説明会等参加人数(人)			目標	2,500.00	2,200.00	2,808.00	1,694.00
				実績	1,959.00	2,571.00	1,503.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>行政からの啓発だけでなく市民同士の啓発もありごみ減量に対する意識が高まっています。住民説明会の質疑を耳にすると、継続的にごみの分別に取り組む市民が増えている事を感じます。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	ごみ減量推進委員会の開催については、開催に対する職員分担を減らすことでコストが下がった。
成果	<p>市民のごみ減量に対する意識の高い人と低い人の2極化が顕著となっている。行政からの啓発を顔を見てのPR活動を積極的に取り入れ実施しているが、期待する効果は上がっていません。説明会の参加者も意識の低い人の参加が少ないなか、市民団体による啓発活動は意識改革のきっかけとなり、市民団体の解散後も継続し活動が行われているところも多いが支援プログラムの利用は少ない。自主的な市民活動との協働により意識の低い人への啓発活動の継続が課題です。</p>

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>ごみ減量及び分別に対し積極的に取組んでいない市民に対し、引き続きごみ減量の必要性とごみ処理の現状を広く周知し、行政からだけでなく市民目線での対策を市民活動との協働による施策を委員会等を含め協議検討し市民行動を促す施策を導き出し実施すること。また、減量や分別に取り組む市民の継続的な取り組みを維持するための取り組み及び支援についても実施することが必要である。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>ごみ減量推進委員会、市民の自発的な活動団体を牽引役として市民から市民への啓発を進展させたい。集団資源回収等による市民協働の推進を図る。</p>

事務事業調査

平成27年度

事業No	453	課	ごみゼロ推進課	係	ごみ減量係	起案者	手塚勝之
						決裁者	水野正二郎
事務事業名	ごみ減量教育事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 1 協働による環境づくり 2 環境教育・学習			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-5	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H17.9環境に関する意識の向上を推進できる機会を増やしていきたい				
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	啓発を受けた子供たちが		~になる	ごみ減量を始めた環境保全に対して関心を持つようになる。	
事務事業の内容	市内全小学校の4年生を対象に、施設見学とビデオによるごみ減量等の環境教育を実施するクリーンパス事業と、環境戦隊サルビアンによる環境保全啓発活動を通し、ごみ減量と循環型社会形成普及を図る環境保全啓発活動を実施します。					
改善・対策の履歴	幼稚園、保育園を対象とした環境戦隊サルビアンの公演内容は、演者を増やし内容を充実した。また、公演実施期間を延長し開催しやすくした。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	8,208	4,173	4,232	3,862	3,163
財源計	4,932	834	1,271	901	1,147
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,932	834	1,271	901
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,276 (0.52)	3,339 (0.53)	2,961 (0.47)	2,961 (0.47)	2,016 (0.32)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	環境戦隊サルビアン ショーの実施	見込	18.00	18.00	23.00	16.00
			実績	19.00	19.00	16.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費 (千円)	3,658	2,163	2,162	
			活動にかかるコスト (千円)	192.53	113.84	135.13	
活動2	活動名 (活動内容)	クリーンバスの実施	見込	21.00	21.00	21.00	21.00
			実績	21.00	21.00	21.00	
	指標名 (単位)	参加学校数(校)	活動の総事業費 (千円)	3,323	1,884	1,637	
			活動にかかるコスト (千円)	158.24	89.71	77.95	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	クリーンバスの参加人数(人)		目標	2,000.00	2,000.00	1,800.00	1,963.00
			実績	2,003.00	2,010.00	1,926.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	環境戦隊サルビアンショー視聴人数(人)		目標	4,000.00	4,200.00	5,000.00	2,900.00
			実績	4,339.00	4,433.00	2,883.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>環境戦隊サルビアンによる啓発活動は、児童及び幼児への環境教育の増進のみではなく間接的にその親への啓発となっています。</p> <p>クリーンバス時の説明者に環境アドバイザーの起用を継続したことで、環境アドバイザーのスキルアップと意識の向上が図られました。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	サルビアン幼稚園での公演は、他課の職員の応援により実施しているため活動コストに反映していません。	
成果	サルビアンのイベントでの公演は、雨天などの影響により人数が減少してしまいました。また、保育園・幼稚園での公演では園児のみではなく父母の参加を条件として、開催期間を延長し各園と調整したが、日程及び開催時間等の調整ができず13園での開催となりました。クリーンバスについては、学校行事として実施をお願いしているため、参加者数は在籍生徒数で変動となるため、過去の実績と比較することはできません。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>環境戦隊サルビアンについては、子どもに人気があり啓発効果が高いので公演だけでなく、様々な啓発活動に活用できるよう検討すること。今後は他課職員の応援がなくても開催できるような少人数での啓発方法を取り入れて欲しい。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>ごみ減量を通じた環境保全への啓発は、幼少期ほど関心を得やすく、将来にわたって環境負荷低減の行動につながり易いです。また、親世代への影響も強く効果は高いため、特に環境戦隊サルビアン公演は、幼稚園の幼児～小学校低学年の児童とその子育て世代向けに開催します。各幼稚園でのミニ公演は他課職員の応援が不可欠なので、サルビアンDVDによる啓発や紙芝居等による啓発を始めたい。</p>

事務事業調書

平成27年度

事業No	454	課	ごみゼロ推進課	係	ごみ減量係	起案者	手塚勝之
						決裁者	水野正二郎
事務事業名					地域環境美化事業	事業種別	市民サービス

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 3 地域環境 2 環境美化 1 アダプトプログラムの充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-5	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策	1-1-3-2-1, 1-1-3-2-2, 1-2-1-1-1	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	安城市ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H18.3多くの市民がボランティア活動に参加されるように情報提供を図る。				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	広く市民が		~になる	地域環境の美化のため自主的に清掃活動に参加するようになる。	
事務事業の内容	地域環境美化のため、アダプトプログラム制度の推進や地域クリーン推進員の養成を通し、環境美化活動の啓発支援を行います。 ※地域クリーン推進員に関する事業は、平成27年度より塵芥収集事業にて実施					
改善・対策の履歴	H26年度：ポイ捨て防止の啓発のため、ポイ捨て等防止推進委員と街頭キャンペーンを受動喫煙防止キャンペーンとの合同開催を含め2回実施した。 ※地域クリーン推進員は組織の事務分担の見直しにより、平成27年度より塵芥収集事業にて実施。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	6,820	7,571	8,377	7,773	5,385
財源計	2,851	3,980	4,912	4,308	3,558
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,851	3,980	4,912	4,308
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,969 (0.63)	3,591 (0.57)	3,465 (0.55)	3,465 (0.55)	1,827 (0.29)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	ボランティア活動募集 及び啓発	見込	7.00	7.00	8.00	8.00
			実績	6.00	7.00	7.00	
	指標名 (単位)	募集及び啓発活動数(回)	活動の総事業費 (千円)	945	945	1,260	
			活動にかかるコスト (千円)	157.50	135.00	180.00	
活動2	活動名 (活動内容)	地域クリーン推進員の養成	見込	12.00	14.00	14.00	0.00
			実績	14.00	14.00	15.00	
	指標名 (単位)	研修会開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,797	1,802	1,799	
			活動にかかるコスト (千円)	128.36	128.71	119.93	
活動3	活動名 (活動内容)	ポイ捨て等防止啓発	見込	0.00	0.00	0.00	3.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	キャンペーンの実施 数(日)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	アダプト団体数(団体)			目標	46.00	47.00	45.00	48.00
				実績	45.00	46.00	47.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	48.00	達成状況	未達成	未達成	達成
成果2	ボランティア活動数(回)			目標	1,200.00	1,200.00	1,258.00	1,258.00
				実績	1,158.00	1,141.00	1,227.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>アダプトプログラム団体の活動や地域クリーン推進員の養成により環境美化活動の普遍化が図られている。また、事業所や市民団体などによる不定期な美化活動や散歩中にポイ捨てごみを拾う人が増えていたり、活動報告がないが環境美化意識が高まっています。</p> <p>定期的に清掃活動が実施されている場所に限ればポイ捨てが減ってきており、以前と比べてきれいになってきています。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	活動募集等の事務は定型的なものであり、参加（登録）団体の増加によりコストは下がります。ただし、登録団体が増加することで支援物品に要する費用は増加します。
成果	アダプトプログラム団体数は増えており、参加者の意識の高まりも見える。しかし、団体によっては、参加者の高齢化が進み活動の継続が困難になる団体も出てきています。アダプト以外の団体や事業者においても、美化活動を実施する団体が増加しているが活動報告書の提出がない活動も多い。ポイ捨て等は少なくなってきている反面、犬ふん等の放置が目立つようになってきています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>参加団体を増やすためのPR方法として、団体の活動内容やPRポイントを写真なども活用し広く知らせることにより、現行団体の継続的活動及び活動の拡大を図るよう支援します。</p> <p>不定期な活動に対しても継続的な活動が行われるよう支援します。</p> <p>市民と共に取り組むことができる犬ふん等の放置に対する啓発や対策を検討します。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>住民や事業者が環境の改善に自ら関わることで、地域の愛着を深められるように、主体的な環境美化活動を支援することで定着化及び拡大を図っていきます。</p> <p>※地域クリーン推進員は組織の事務分担の見直しにより、平成27年度より塵芥収集事業にて実施。</p>

事務事業調書

平成27年度

事業No	455	課	ごみゼロ推進課	係	ごみ減量係	起案者	手塚勝之
						決裁者	水野正二郎
事務事業名	ごみ減量化推進事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり			予算科目(会計)	一般会計	
	2 資源循環			予算科目(款・項・目)	20-10-5	
	1 ごみ			総合計画以外の計画	安城市一般廃棄物処理基本計画	
	1 減量化			関連する総合計画の施策	1-2-1-1	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成05年度	経過	22年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	広く市民が			~になる	ごみ減量に取組みごみ排出量が削減される。
事務事業の内容	ごみ排出量の削減を目的に、ごみの発生抑制や分別の啓発を行うとともに、生ごみ処理機器の購入費用を補助しごみ減量を図ります。 家庭用の指定・推奨ごみ袋の作成をして、指定卸店へ販売しています。					
改善・対策の履歴	事業系一般廃棄物の搬入検査を強化し実施して搬入者及び排出者に産業廃棄物の混入及び古紙の再資源化を指導しました。また事業者向けのごみの出し方分け方早分かりブックを作成し配布しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	75,677	95,062	126,666	115,048	119,589	
財源計	69,062	88,447	118,602	106,984	113,982	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	57,331	80,735	95,262	88,090	95,287
	一般財源	11,731	7,712	23,340	18,894	18,695
受益者負担金	57,154	80,593	95,092	87,954	95,092	
職員人件費 (従事職員数)	6,615 (1.05)	6,615 (1.05)	8,064 (1.28)	8,064 (1.28)	5,607 (0.89)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	広報等による減量啓発	見込	13.00	13.00	14.00	13.00
			実績	13.00	14.00	13.00	
	指標名 (単位)	掲載数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,781	1,781	2,302	
			活動にかかるコスト (千円)	137.00	127.21	177.08	
活動2	活動名 (活動内容)	住民説明会等によるごみ減量啓発	見込	97.00	115.00	118.00	55.00
			実績	118.00	115.00	106.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,531	1,633	1,679	
			活動にかかるコスト (千円)	12.97	14.20	15.84	
活動3	活動名 (活動内容)	生ごみ減量講習(市主催)	見込	8.00	8.00	8.00	8.00
			実績	8.00	8.00	8.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	818	716	582	
			活動にかかるコスト (千円)	102.25	89.50	72.75	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	生ごみ処理機器の購入補助件数(基)			目標	470.00	360.00	326.00	222.00
				実績	311.00	272.00	184.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
成果2	市民一人一日当たりのごみ排出量(g)			目標	655.00	633.00	611.00	638.00
				実績	698.00	700.00	690.00	
	目標達成年度	平成29年度	目標成果指標値	611.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>各種啓発活動で、ごみ減量や分別に対する意識は向上してきている市民は多くなってきているが、ごみ減量に関心がない市民もまだ多いがごみ量は減少傾向になっている。 事業系のごみの排出量も同様に減少傾向となってきました。</p>
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	事業者向けのガイドブック「ごみの出し方・分け方早分かりブック」を作成したことによりコストは上がった。
成果	事業系ごみの搬入物検査の強化は、実施回数、時間を大幅に増やし、指導したことで一定の効果が見られる。生ごみ処理機購入補助に関しては、処理機器の購入は減少しています。生ごみ処理に関心のある世帯に処理機器が行き渡った感があるが、燃やせるごみの重量の約半数を占める生ごみの減量は重要であるので、ごみ減量に対し無関心層の市民の取り込みが課題となっています。資源ごみの収集量の減少も見られるが、民間ステーションでの回収や紙媒体の減少も要因の一つであると思われるが分別の徹底が必要である。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>生ごみ処理に関して地域特性を生かした処理方法の提案などを実施し、生ごみ処理に取り組む市民を支援し利用拡大を図ります。 市民活動団体との協働によりごみの分別の徹底などごみ減量が広く市民に浸透する方策を検討し実施します。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>ごみの排出量削減のためには、市民の減量に対する意識の向上と取組みが重要であるため、啓発活動及び機器購入の助成を継続的に実施する必要があります。</p>

事務事業調書

平成27年度

事業No	456	課	清掃事業所	係	事業係	起案者	野村知弘
						決裁者	水野正二郎
事務事業名	資源リサイクル事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 2 資源循環			予算科目(会計)	一般会計
	1 ごみ 2 資源化 4 リサイクルの推進			予算科目(款・項・目)	20-10-5, 20-10-10
				総合計画以外の計画	環境基本計画
				関連する総合計画の施策	
				性質区分	市の内部事務事業
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	有 H17.12曜日を限定して移動型ステーションを設置				
陳情・市民要望	無				
実施方法	全部委託	委託先	民間企業, 行政関連団体		
実施期間	開始	平成14年度	経過	13年目	終了 期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	広く市民が		~になる	ごみの再資源化に関心を持ち分別するようになる。
事務事業の内容	<p>ごみの再資源化を促進するために、リサイクルステーションの設置と集団資源回収等に対する報償金事業を実施します。</p> <p>ごみの再資源化と減量の啓発活動として、粗大ごみの家具等の再生及び販売を実施します。</p> <p>※集団資源回収事業は、平成27年度より環境保全協働推進事業にて実施</p>				
改善・対策の履歴	<p>H26年度2月に桜井リサイクルステーションをアピタ安城南店駐車場内に移設し、利用者の利便性の向上と路上駐車などの対策を図りました。また、北部リサイクルステーションの乗り入れを拡幅することで利用者の利便性を図りました。</p> <p>※集団資源回収等の報償金は組織の事務分担の見直しにより、平成27年度より環境保全協働推進事業で実施。</p>				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	89,911	114,590	100,155	102,971	39,815	
財源計	85,753	110,243	96,186	99,002	34,145	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	29,212	23,883	28,700	26,986	17,000
	一般財源	56,541	86,360	67,486	72,016	17,145
受益者負担金	1,890	2,131	1,700	1,870	2,000	
職員人件費 (従事職員数)	4,158 (0.66)	4,347 (0.69)	3,969 (0.63)	3,969 (0.63)	5,670 (0.90)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	リサイクルステーション の管理（資源回収）	見込	5.00	5.00	6.00	7.00
			実績	5.00	6.00	6.00	
	指標名 (単位)	管理数(ヶ所)	活動の総事業費 (千円)	19,024	45,030	33,571	
			活動にかかるコスト (千円)	3,804.80	7,505.00	5,595.17	
活動2	活動名 (活動内容)	再生家具販売の開催	見込	12.00	12.00	12.00	12.00
			実績	12.00	12.00	12.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,233	2,345	2,776	
			活動にかかるコスト (千円)	186.08	195.42	231.33	
活動3	活動名 (活動内容)	住民説明会等によるリサ イクル啓発	見込	97.00	115.00	118.00	0.00
			実績	118.00	115.00	118.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,071	978	1,049	
			活動にかかるコスト (千円)	9.08	8.50	8.89	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	リサイクルステーションの回収量(t)		目標	3,800.00	3,557.00	3,836.00	3,910.00
			実績	3,470.00	3,395.00	3,330.00	
		目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	3,910.00	達成状況	未達成
成果2	資源ごみ回収量（リサイクルステーション を除く）※H27年度より集団資源回収を除く(t)		目標	12,400.00	12,221.00	12,356.00	8,098.00
			実績	11,776.00	11,375.00	11,316.00	
		目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>再生家具の販売も利用が多く市民から家具等をごみとして捨てるのではなく、必要な人に利用してもらう仕組みづくりの要望等もあり市民の意識の向上が伺えます。</p> <p>総合リサイクルステーションの開設も2年目となり、利用者が増え資源ごみへの意識の高まりも見えてきています。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		H25年度は総合リサイクルステーションの新設による工事費及び運営費が含まれており、平成26年度は桜井リサイクルステーションの移設や北部リサイクルステーションの乗り入れ拡幅工事等によりコストは上がった。
成果		資源ごみステーション、リサイクルステーションでの収集は減少気味であるが、民間ステーションは増えており利用は増加傾向にあると思われます。また、可燃ごみの市民一人当たりの排出量は減少傾向にあることから、資源ごみの分別に対する市民の取り組みの推進のため、分別方法及び排出方法の更なる周知が重要であります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	<p>資源ごみの排出方法を民間ステーションを含め広く周知するなどし、分別に取り組む市民の増加を図ります。</p> <p>市民が排出するごみの量が削減されることによる回収量の増減の動向に留意し、取組み方法について費用対効果を考慮し検討します。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>可燃ごみの排出量削減、循環型社会の形成には、再生資源の分別が重要である。分別を定着化するためには再生資源の回収場所の整備は欠かせないものであるため、資源ごみステーション、リサイクルステーション等の複数の仕組みを継続させることが必要であります。</p> <p>※集団資源回収等の報償金は組織の事務分担の見直しにより、平成27年度より環境保全協働推進事業で実施。</p>

事務事業調書

平成27年度

事業No	429	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名		合併浄化槽普及事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 2 浄化槽 2 高度処理型浄化槽の普及		予算科目(会計)	一般会計
			予算科目(款・項・目)	20-10-5
			総合計画以外の計画	生活排水処理基本計画
			関連する総合計画の施策	1-1-3-1-1, 1-3-2-2-2, 1-3-2-2-3, 1-3-2
			性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無			
法定受託事務	無			
公約・議会答弁	有	H17.3:高度処理型合併処理浄化槽の補助を重点的に行って、公共用水域の浄化を図ります。		
陳情・市民要望	無			
実施方法	直営	委託先		
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目
			終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	浄化槽設置者が	~になる	高度処理型浄化槽導入により河川等の水質汚濁防止を図ります
事務事業の内容	公共下水道認可区域（当該年度に認可が見込まれる区域を含む。）及び農業集落排水処理区域以外の地域で高度処理型合併処理浄化槽（窒素除去型及び窒素磷除去型）を設置する者に対し、補助金を交付します。			
改善・対策の履歴	平成18年度から環境によりよい高度処理型浄化槽のみを補助対象としました。 平成23年度から補助金の交付対象の項目に市税の滞納がないことを加えました。			

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	43,160	37,890	42,855	35,660	42,855	
財源計	40,640	35,370	40,335	33,140	40,335	
財源の内訳	国庫支出金	13,445	11,630	13,445	10,904	10,900
	県支出金	7,863	6,371	8,067	6,234	5,840
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	19,332	17,369	18,823	16,002	23,595
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	補助金交付事務	見込	145.00	145.00	145.00	145.00
			実績	148.00	127.00	118.00	
	指標名 (単位)	補助件数(件)	活動の総事業費(千円)	43,097	37,827	35,597	
			活動にかかるコスト(千円)	291.20	297.85	301.67	
活動2	活動名 (活動内容)	広報あんじょう等への掲載	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	掲載数(回)	活動の総事業費(千円)	63	63	63	
			活動にかかるコスト(千円)	31.50	31.50	31.50	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	合併処理浄化槽設置基数(基)			目標	6,200.00	6,600.00	7,000.00	7,400.00
				実績	5,315.00	5,530.00	5,620.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	7,400.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	高度処理型浄化槽補助基数(基)			目標	145.00	145.00	145.00	145.00
				実績	148.00	127.00	118.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	浄化槽設置業者が浄化槽設置者に対して、補助対象となる高度処理型浄化槽を推奨するようになりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	補助件数は9件減少し、単位コストは前年度より増加しました。
成果	下水道普及率は基準年の50.1%から平成26年度76.6%と伸びており、住宅新設または改築の際に下水道接続を選択するエリアが増加しています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
高度処理型浄化槽の設置推進のため、市民や浄化槽設置業者への一層のPRを図ります。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、引き続き高度処理型浄化槽の設置者に対して補助金を交付していきます。